

P13



グローブスクール間の交流

日本各地の学校がグローブに参加していることから、グローブスクール間で交流を深めることができるのも大きなメリットです。複数の学校と一緒に活動し、情報交換や交流を深めることができます。また、グローブスクール以外の地域の学校とも連携することで、調査や環境活動を広げることができます。



流域における連携活動

由良川の河口と中流域に位置する二つのグローブスクール：京都府立海洋高等学校(河口)・京都府立綾部高等学校(中流域)では、連携をとりながら交流会を開いています。お互いに川や海に関する学習や活動、情報交換を行うとともに、生徒・先生同士の交流も深めることができます。



春は綾部高校が中心となり、由良川クリーン作戦を実施。秋は海洋学校が中心となり、海の学習を実施。

(上)由良川クリーン作戦の様子
(下)マイクロプラスチック調査

地域の学校との交流授業

北海道蘭越高等学校では、川をテーマに、地域の小中学校と水質調査を通じた交流授業を実施しています。授業は、河川事業者とも連携し、高校生が講師となり、行っています。ライフジャケットの着用方法やpHの測定方法、水生昆虫の採集方法など水に関する調査を行うとともに、学校間、生徒同士の交流を図っています。高校生が小中学生を相手に授業を行うため、事前にしっかり勉強して取り組むなど、生徒のモチベーションの向上にもつながっています。



交流授業の様子